

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4308 公民館管理事業											
所 属	130600 社会共創部・中央公民館											
施 策	04011800 生涯学習の機会充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施した。一部公民館（日滝・豊丘）で冷房料の実費徴収を開始した。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を開始する。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	中央公民館及び各地域公民館使用者数				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	210,000	210,000	210,000	210,000
	実績	177,313	173,100		
指標選定の理由	総合計画と同じ				
最終年度目標の根拠	平成26年後の数値を基に算出				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		33,181	36,573
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,542	2,087
一般財源		30,639	34,486
人員数(人)	正規職員	1.8	1.1
	嘱託職員	1.2	1.1
	臨時職員	0.6	0.6
人員コスト	正規職員	12,868.2	7,863.9
	嘱託職員	3,319.2	3,042.6
	臨時職員	707.4	707.4
	計	16,894.8	11,613.9
市民一人当たりの経費		1.0	0.9
総額		50,075.8	48,186.9

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	12,528	消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	2,050	清掃業務、電話保守点検委託、エレベータ保守点検委託、事務機器保守点検委託、電気保安業務委託 等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	18,603	手数料、保険料、土地借上料、機器賃借料、受信料、清掃用具借上料、原材料費、備品購入費、自動車重量税

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,166	清掃業務、電話保守点検委託、エレベータ保守点検委託、事務機器保守点検委託、電気保安業務委託 等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	34,407	手数料、保険料、土地借上料、機器賃借料、受信料、清掃用具借上料、原材料費、備品購入費、自動車重量税

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	学習の場、交流の場づくりとしての機能を有しており、市民からは必要とされている。近年、中央公民館、地域公民館共に地域における小さな拠点として位置付けられている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため施設の維持管理に努めている。有事の祭は避難所としての機能するよう考慮。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担から冷暖房施設使用料の徴収を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

冷暖房利用料の徴収が開始されたため、中央公民館及び地域公民館の冷暖房施設、徴収に関する手続きの整備に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
冷暖房利用料の徴収も始まり、これまで以上に利便性、安全性に配慮した管理が必要		市民に実費負担を求めながら、利用者が安全・快適に、今後も長期間使用できるよう適切に管理する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	